

家族を笑顔にする 10のヒント

か す が

か て い の ち から

家庭は教育の原点であり、すべての出発点です。

春日市では、子どもたちが元気で、夢をもって、地域と関わりながらたくましく育つよう、
家庭で取り組みたいことを「10のヒント」としてまとめました。
家庭で大切にしたいことを、みんなで話しあってみませんか。

か

かか
関わり合おう

「あいさつは魔法のことば」

「おはよう」から始まるすてきな一日。
明るいあいさつ一言で、心が通い、相手との距離が縮まります。
「おはよう」「こんにちは」「ってきます」と子どもがすすんで気持ちよくあいさつするよう、親が手本をしめしましょう。



す

すこ
健やかに過ごそう

「早寝 早起き 朝ごはん」

子どもの健やかな成長には、規則正しい生活リズムが大切です。
朝の光で目覚め、家族一緒に朝ご飯を食べることで、活動的な一日が始まります。
「早寝早起き朝ごはん」を合言葉に生活リズムを整えましょう。



が

がっちり心をつかもう

「言葉のキャッチボール」

会話はコミュニケーションの基本です。
子どもの言葉を、手を止め、目を見て、受け止めてあげましょう。
会話を通して、「聞いてもらえた」「分かってもらえた」「ほめてもらえた」という気持ちがふくらみ、親子の信頼関係も深まります。



か

かんしゃ

感謝の気持ちを伝えよう

「ありがとう」が育む思いやり

日頃から「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えましょう。「ありがとう」と言われるうれしさを実感すると、人に感謝の気持ちを伝えられるようになります。「ごめんなさい」も素直に言えるといいですね。

心を込めた言葉は相手に伝わり、思いやりの輪が広がります。

ありがとうございます



て

てつだ
手伝いは

「子どもの自立の第一歩」

子どもの成長に合わせて、役割を与えて任せしてみましょう。まずは簡単なお手伝いから。

たくさんほめて、できることを少しずつ増やしてあげましょう。頼りにされることで、家族や社会の一員としての自覚が芽生え、責任感や自立心が育ちます。



い

いっぱい話し合ってみよう

「これが、わが家のルール！」

家族で大切にしたいルールについて話し合ってみましょう。

家族が全員集まる時間をつくって、お互いに意見や感想を語り合うことで、子どもの家庭内での所属感が高まります。



の

ノー! も大切に

「家庭のしつけと社会ルール」

家庭でのしつけはもちろん、社会生活にもルールがあることを教えましょう。子どもがルールを守れなかったり、失敗しても、慌てずに、しっかり話を聞いてあげましょう。ルールの大切さや必要性を根気よく伝えることが大切です。



ち

ちいき

地域は子育ての応援団

「親と地域がつながろう」

学校行事やPTA活動、地域の行事などに参加すると、子どもの外での様子を知ることができます。また、親の人間関係も広がり、そこから子どもと地域がつながっていきます。子どもは地域とのつながりの中で育てましょう。



か

かんせい

感性をみがこう!

「自然体験、読書活動！」

自然体験や読書は、子どもの成長に大切なものです。屋外で植物や昆虫を観察したり、読み聞かせをするなど、いろいろな体験をさせてあげましょう。

これらの体験が子どもの感性を育てます。



ら

「らしさ」を生かす

「認めて・ほめて」がやる気の源

子どもが「～したい」といったときは、見守って励ましてあげましょう。そして、できた時には、ほめてあげましょう。

その子らしさを認めてあげると、安心感と小さな満足感が生まれます。ほめられることは心の栄養になります。

